

第15回「議員と語りかい」報告書

(溝辺：No.1)

開催日時	平成27年5月18日（月） 午後7時00分 ～ 8時30分
開催場所	崎森地区公民館
参加人数	8人
出席議員(6人)	中村 正人、池田 守、中村 満雄、植山 利博、厚地 覺、中馬 幹雄
役割分担(4班)	班 長（厚地 覺）副班長（池田 守）記録係（中馬 幹雄）

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

<意見交換会での主な意見等>

◆1 高齢化が進み整形外科に通院する人が多いが、交通手段がないため遠方の息子に通院させてもらっている。地域内のバス路線はあるが、他地域（本庁）までの路線がない。

◇【議員回答】公共交通システムは民間会社との構築もあり、大変困難なところである。

◆2 タクシー券の配布（補助制度）はできないものか。

◇【議員回答】これらの交通に関する問題は今までも議会の一般質問等でも議論されており、その方向性は示しているが、なかなか難しい問題である。

◆3 霧島高校へ通学する生徒が嘉例川駅まで自転車通学をしているが、通学の実態を調査する必要があると思う。バス路線は地域内だけではなく、駅を含めた市内全域を考慮すべきであると思う。

◇【議員回答】コミュニティバスについては、何年かごとに見直しをして地域の実状に合ったような路線の組み方をしているが、地域と地域を結ぶバス路線は既得権の問題などがある。昨年、公共交通の法律が幾分変わったので、今年度からバス会社も含めて検討を始めたところである。

◆4 65歳以上の農業者が生産した作物を販売する場所がない。

◇【議員回答】地域と生産者と、地域の商店や商工会・農協等と連携を取りながら場所の選定ができればいいのではないか。

◆5 区画整理事業が始まり公園ができる計画であったが、合併後何も話を聞かない。

◆6 移住定住促進事業は、もっと大胆な政策が必要である。ある町では行政で住宅を造り、促進を図っている。その結果、小学校の新生18人のうち12人が移住者の子どもであった。この問題には今から対応しないと間に合わない。それと、各地域であった人の集まる事業（地域の行事）は残してもらいたい。

◇【議員回答】移住定住促進事業については、当初は市外の人を対象としていたが、今は市内間の移住も対象としている。

◆7 合併後、市の職員が大分減ったようだが、職員1人当たりの仕事量が増えて残業代が増えてい

るのではないか。

◇【議員回答】職員数は、合併当時と現在とでは約300人減っている。しかし、臨時職員が691人いる。職員の人件費は相当減っているが、臨時職員の人件費は合併当時とあまり変わっていない。

◆8 溝辺中学校のプールに浄化施設がない。

◇【議員回答】学校のプールの浄化施設については、調査したい。

◆9 林道の整備が悪く、路肩は雑草や木が茂っている所以对策はとれないのか。

◇【議員回答】河川・道路等の清掃にはアダプト制度という補助制度があるので、地域の方々に協力していただきたい。